チーム開発における git の使用手順

池守和槻

著者名2

2009/05/24

1 はじめに

今回の開発では「Shared Repository Model」に基づいた開発をするための手順書である。「Shared Repository Model」を以下では「SRM」と略して書く。

2 SRMとは

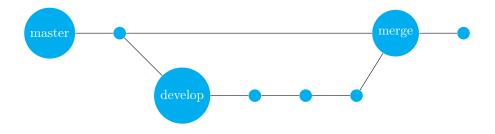
SRM とは複数の開発者 (少人数であることが多い) が 1 つの Repository の push 機能を保持し、Fork をせずに開発するモデルである。詳しくは、以下のサイトを参照

https://help.github.com/en/articles/about-collaborative-development-models

3 SRM による開発の流れ

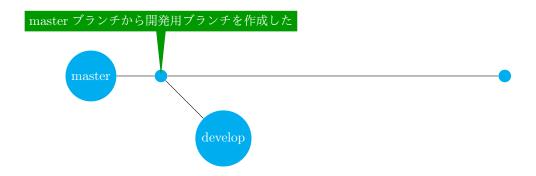
- 1. 開発する Repository を自分のマシンのローカルに clone する。
- 2. master branch から開発用 branch を作成
- 3. 開発用 branch で開発作業を行う
- 4. 開発中の commit は開発用の branch に commit する。(commit は出来るだけ細かく行う)
- 5. 開発が終了したら、remote repository の開発用 branch に push し pull request をする。
- 6. コードレビューをして問題がなかったら、master に merge する。

3.1 具体例

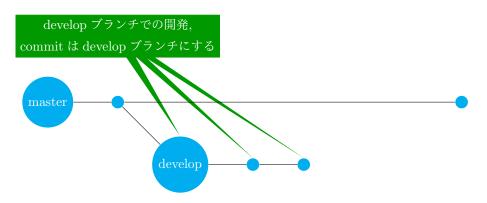


以上のような開発フローを考える

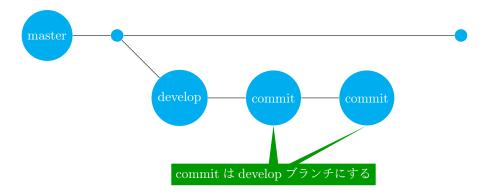
- 1. 開発する Repository を自分のマシンのローカルに clone する。
- 2. master ブランチから開発ブランチを作成



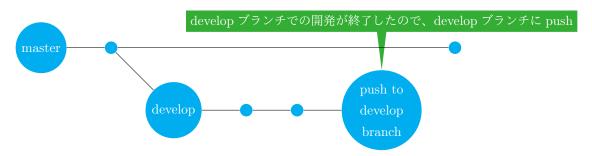
3. develop ブランチで開発



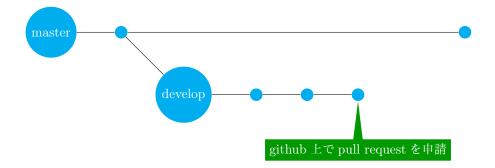
4. 開発中の commit は開発用の branch に commit する。



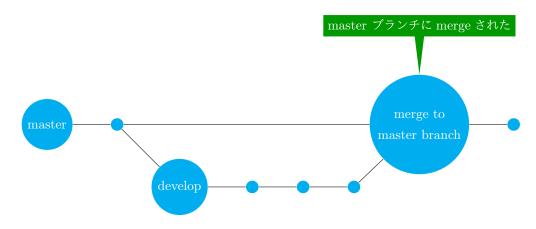
5. 開発が終了したら、remote repository の develop branch に push する。



6. github 上で pull request を申請



7. コードレビューをして、コードに問題がなければ master ブランチに merge



4 各作業のやり方

以下の説明は atom を前提として説明する。 説明のために README.md のみしかない repository test を用いて説明する。

4.1 remote repository をローカルにクローン

省略

4.2 branch の作成,branch の切り替え, 現在いる branch の確認

repository test を clone してきた直後はした画像のようになっている。

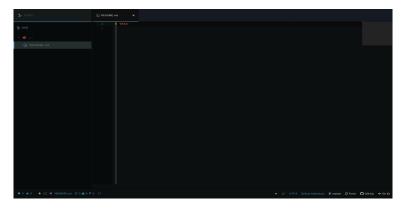


Abbildung1

branch は以下のようにターミナルでコマンドを打つことで作成できる。 また、atom 上でも GUI を用いて作成することができる。

● branch の確認

現在作業中の branch の確認や存在する branch の確認は以下のコマンドで \$ git branch

以下のようにターミナルにコマンドを打つと出力される。

ただし、* がついてる branch が現在いる branch である。

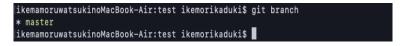


Abbildung2

また、以下のように atom 上の右下にある master のボタンでも簡単に確認できる。

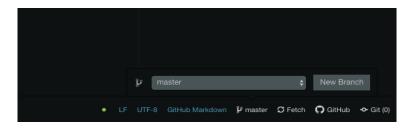


Abbildung3

● branch の作成

新たに branch を作る時は以下のようにターミナルでコマンドを打てば作成される。 \$ git branch $test_branch$ 以下のようにターミナルにコマンドを打つと出力される。

```
ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki$ git branch test_branch ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki$ git branch * master test_branch ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki$
```

Abbildung4

また、以下のように atom 上の右下にある master のボタンでも簡単に作成することができる。



Abbildung5

● branch の切り替え

新たに branch を作る時は以下のようにターミナルでコマンドを打てば作成される。

 $\$ \ git \ checkout \ test_branch$

以下のようにターミナルにコマンドを打つと出力される。

ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki\$ git checkout test_branch Switched to branch 'test_branch' ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki\$

Abbildung6

また、以下のように atom 上の右下にある master のボタンでも簡単に切り替えられる。



Abbildung7

4.3 開発用ブランチに commit

 $test_branch$ での commit はいつも通りに、以下のようにすればいい

- git add {追加するファイル名}
- git commit -m {コミットメッセージ}

また、atom上でも以下の画像のようにcommitを行える。

右下のGit ボタンを押すと下のように画面が出てくるので、GUI でのadd とcommit が行える。

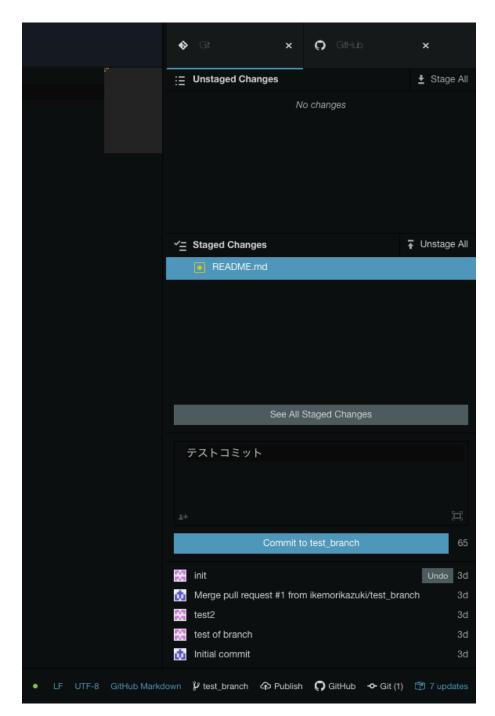


Abbildung8

4.4 リモートリポジトリに push する

 $test_branch$ への push は以下のように terminal 上でコマンドを打てばいい。 \$ git push origin test branch

```
ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki$ git push origin test_branch
Enumerating objects: 5, done.
Counting objects: 100% (5/5), done.
Delta compression using up to 4 threads
Compressing objects: 100% (2/2), done.
Writing objects: 100% (3/3), 307 bytes | 307.00 KiB/s, done.
Total 3 (delta 0), reused 0 (delta 0)
To github.com.sub:ikemorikazuki/test.git
    1382194..c147e77 test_branch -> test_branch
ikemamoruwatsukinoMacBook-Air:test ikemorikaduki$
```

Abbildung9

また、図8の右下にある publish ボタンを押すことでも push できる。

4.5 pull request の送り方

github 上で以下のような画面になるので、compare & pull request を押す。

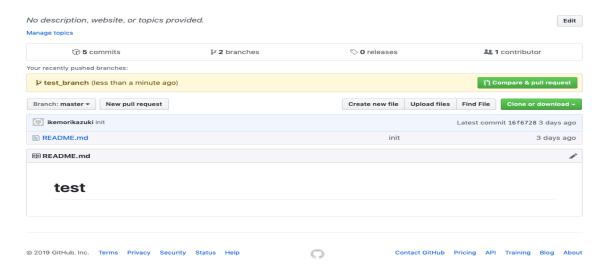


Abbildung10

すると以下のような画面になるので、適当なタイトルとコメントを書いて Create pull request を押す。最後に、問題がなければ

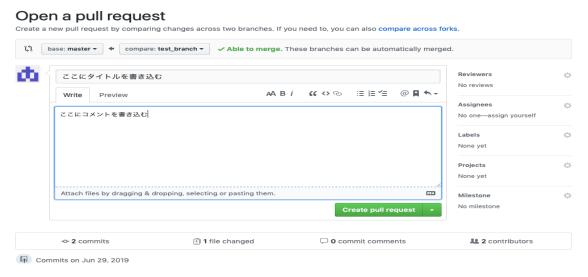


Abbildung11

以下のような画面になるのでレビュアーのレビューを待ち、訂正を要求されたら訂正する。

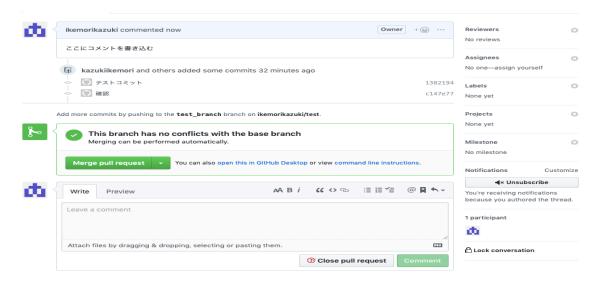


Abbildung12